

95年10月17日(火) - 11月4日(土) / 11月14日(火) - 12月23日(土)  
 午前10時30分 - 午後6時(入場は午後5時30分まで)  
 休館日: 11月7日(火) - 11月11日(土) および日曜日、月曜日  
 [入場無料] 東京国立近代美術館フィルムセンター 展示室7階

# ポ 本 映 画 史 で みる

映画生誕百周年記念

みそのコレクションより

Japanese Film History in Posters  
 -From the Collection of Kyohei Misono-

オペラの怪人  
 全世界を轟然とさせる最大雄篇  
 天然色撮影の色彩輝然！ 感激と興味横溢の奇蹟的傑作  
 栗島すみ子 前中後編 十七巻  
 妖艶赤比

活大動真  
 江戸染血の纏し  
 尾上松之助一派  
 京西澤商會  
 トキワ座

忠次御用  
 大河内傳次郎 藤用  
 伏見直江 演  
 沢蘭子  
 伊藤大輔監督  
 活時代大映画  
 怪燿燿大  
 大驚神活劇  
 士外星 蕃玄星  
 名百数員人場登掛仕大具道大  
 場八廿百全  
 園公草



岩見重太郎 (日活京都, 1917年)



淑女は何を忘れたか (松竹, 小津安二郎監督, 1937年)



ふるさと (日活, 溝口健二監督, 1930年)

映画関係者の間でつとに有名な「みそのコレクション」。御園京平(本名・月村吉治)氏が生涯をかけて収集した膨大な映画資料は、ポスター、スチル写真、プログラム(チラシ、パンフレット)の三分野に関する充実性にその特徴がみられます。御園氏は、新フィルムセンターの開館を祝する意味で貴重なポスター類の寄贈を決意され、このたびの展覧会が開催されることになりました。

本年は「映画生誕百周年」にあたって、展示される作品は、映画がわが国に渡来した明治30年代から大正、そして昭和の前半期(戦前)までのものを対象とすることにしました。

映画が「活動写真」と呼ばれた時代、この新しい表現形態は人々に大いなる関心をもたらしましたが、初期のポスターにはその驚きが簡潔に示されています。そしてわが国の伝統に根ざしたと思われる絵看板や浮世絵版画などを思わせるものが出現するようになります。その後は、ポスターに人気スターの絵や名前の大書が要求されたり、作品に大正モダニズムが取り入れられたりする時代を経て、しだいに絵に代って写真が多用されるようになっていきました。映画の宣伝・広告を目的にしたポスターが、時代の状況や世相を生き生きと反映していることも興味深いことです。この映画ポスター展により、映画の誕生とわが国における受容の歴史、そして映画文化の興隆から全盛へと連なる雰囲気を感じていただければと思います。



VITASCOPE 活動大写真 (1899年頃)



全能的活動大写真 駒田好洋 (1904年頃)

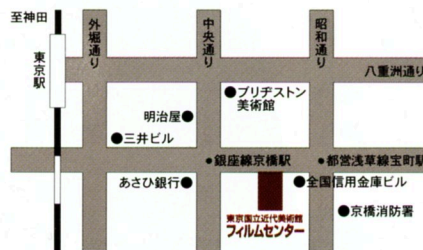
椿姫 (日活, 村田實監督, 1927年)



fiaf  
100 cinema

N 東京国立近代美術館フィルムセンター  
F National Film Center  
C The National Museum of Modern Art, Tokyo

お問い合わせ/フィルムセンター ☎104 東京都中央区京橋3-7-6 ☎03(356)0823



営団地下鉄 銀座線京橋駅下車、出口1から昭和通り方向へ徒歩1分  
都営地下鉄 浅草線宝町下車、出口A4から銀座通り方向へ徒歩1分  
営団地下鉄 有楽町線銀座一丁目駅下車、出口9より徒歩5分  
JR東京駅下車、八重洲南口より徒歩10分